

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 1326

事業名	緑公民館活動事業		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	生涯学習文化振興課		款	教育費・10款
担当者	長田 久	電話 0799-44-3008		項	社会教育費・5項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	公民館費・2目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱		人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり		
	まちづくりの目標		情熱と生きる喜びあふれるまち【生きがい】		
	施策目標		仲間との絆を深め、情緒やセンスを磨く、芸術文化活動・スポーツ活動を盛んにする		
該当する事業について「 」を選択			施策的	業務委託	負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 市民 対象人数(人) 53,374
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 1. 定期講座を開設する。 (1) 子供クッキング (2) 三味線講座〔初級〕 (3) エアロビ教室 (4) 入門太極拳教室 (5) 自然手作りを楽しむ会 2. 文化祭を開催する。 (1) 出展内容 書、画、手芸、写真、俳句、陶芸、生花、盆栽、菊花、小中学校生作品等 (2) 出展団体 緑文化協会サークル、小中学校生、その他 (3) 出展者数 1,025人
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 文化活動においては、淡路人形浄瑠璃館や滝川記念美術館などの優れた文化芸術を見ることが出来る施設が整備されていると共に、文化芸術祭の開催など、市民のより地域に根ざした文化芸術活動の場と機会が提供されており、余暇活動を有効に活用し、スポーツクラブや文化サークルなどの活動に参加したいという市民の意向が高くなっていることから、多様なニーズに見合った講座を開講し、市民の生涯学習への意欲を更に高める必要がある。
	事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 () <input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
	合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧町毎に行われていた講座開設の形態と講師料の統一を図った。

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	公民館講座開設数			指標単位 講座
	指標説明 (指標算出方法等)	年5回以上開講の講座を対象とした開講率を表す指標			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	10	6	5	3
	実績値	7	5	2	
	達成度 (%)	70.0	83.3	40.0	-
目標値設定の考え方	実際に募集する講座数としたが、3年後にサークル活動に移行を目指している為、講座数は減少傾向である。				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	公民館講座受講者数			指標単位 人
	指標説明 (指標算出方法等)	年5回以上開講の講座の募集定員に対する応募者率を表す指標			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	236	130	90	60
	実績値	116	104	28	
	達成度 (%)	49.2	80.0	31.1	
目標値設定の考え方	実際に募集する募集定員としたが、3年後にサークル活動に移行を目指している為、応募者数は減少傾向である。				
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	直接事業費 (千円)	878	793	620	415
	公民館講座謝礼	792	645	550	360
	消耗品費	35	33	0	0
	印刷製本費	34	68	35	35
	郵便料金及び切手等購入費	0	13	0	0
	折込手数料	17	34	35	20
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他	310	290	255	240
	一般財源[A]	568	503	365	175
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
事業量1(事業に要した日数)					
事業量2(事業に要した人数)					
年間経費([A]+[B])	568	503	365	175	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	0.0	0.0	0.0	2.9	
受益者人数(6,300)1人当り経費(千円)	0.1	0.1	0.1	0.0	
経費に関する補足説明					

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価) 3
		%	70.0	83.3	40.0	-	
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 目標数値の設定がむつかしい面もあるが、緑地域は、他地域からの参加はあるものの、他の地域と比較して、市民数が少ない中で、すでに23サークルが自主活動を行っていることもあり、申し込み少数で開講できない面がある。							
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価) 4
	成果向上率	%	-	10.3	73.1	-	
	(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) これまで、公民館講座を開講しすでに23団体が自主活動を行っていることからして、効果は着実に上がっているものと考え。						
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価) 3
	効率性増減率	%	-	24.0	81.4	-	
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 今後は、多くの受講者が望める講座を開講し、概ね受講料で講師料が賄える様な努力を行う。						
必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低						自己評価 (5点評価) 4
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 公民館は、社会教育の拠点でもあり、災害時の避難場所ともなっており、地域住民にとって最も身近な行政機関である。						
総合評価	自己評価をふまえた現状分析						
	旧緑町の人口は平成17年度末で6,262人と少ない。他地域からの利用者はあるもののその利用者のほとんどが旧緑町の市民であり、他の地域と比較して文化団体数や公民館講座への応募数も少ないことから、今後は如何にして他地域からの受講者を増やすかが、大きな課題である。			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>			

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>新たな講座も開設し、応募者数の増も図りたいと考えているが、継続中の講座で、受講者が少数なもので他館で行われている講座については、できるだけ統一する方向での検討も必要である。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 継続中の講座で、受講者が少数なもので他館で行われている講座については、できるだけ統一することにより、経費面の節減は図れると思うが、地域性、距離等受講者の立場にたって慎重に検討する必要がある。	